

だんだん

※「だんだん」は、西日本の一部地方の方言で「ありがとう」という意味です。

支部のエリアは、高花、原山、内野小学校の区域です。

社会福祉協議会ニュータウン中央南支部の広報「だんだん」です。社会福祉協議会（社協）は、市内を8つの支部に分けて、様々な福祉事業に取り組んでいます。当支部は、内野、原山、高花小学校の学区をエリアに、独居高齢者の会食「だんだんランチ」や、各小学校でのユニカル大会、原山中学校生徒会と共催の「だんだんの集い」、地域カフェなどの事業を行っています。来年度も当支部の活動が充実するよう、地域の皆さまのご協力をお願いいたします。

講演会 認知症と暮らす

今年も
やります！

3月25日(日) 10:00～12:00

サザンプラザ 多目的室



参加無料・申し込み不要

印西市が公表している資料によると、市内に住む認知症を疑われる人は約1,600人、65歳以上の人口が約2万人ですので、だいたい高齢者の10人に一人くらいは何らかの認知症状があることになります。

ちょっとした物忘れやアクシデントにも、笑い話で「認知症」が言い訳にされるように、認知症はもうすでに特別な病気ではなく、だれにでも起こりうる、巷に普通にあり、日々をともに暮らしていく存在になりつつあります。むやみに不安になったり、悲観したりせず、認知症を理解し、上手に付き合っていくことが必要です。

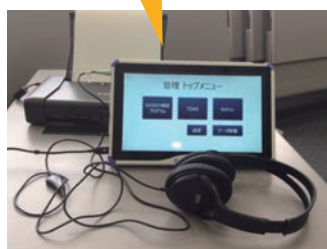
今から二十年前、介護保険制度が始まる以前から、印西市小林で認知症のグループホームを立ち上げた、認定NPO法人 秋桜（三島木和香子理事長）。秋桜で介護事業代表を務め、まさに認知症とともに人生を歩んできた筒井慈子さんに、認知症と暮らすコツを伝授していただきます。

【お話の内容】

- ・ 認知症の特徴と進行
- ・ 夫が、妻が、認知症かも…まずどうする？
- ・ 暮らしはどう変わる？ どう変える？
- ・ ご近所との付き合いは？
- ・ 専門機関と上手に付き合うには
- ・ 認知症と楽しく暮らすコツ
- ・ 認知症の制度や公的なサービス

～相談コーナー、認知症簡易判定体験コーナー～

認知症簡易判定
「ものわすれプログラム」



講師紹介

筒井慈子（つついちかこ）さん

認定NPO法人秋桜 介護事業代表、小規模多機能型居宅介護事業所「よりそいホーム」管理者、千葉県認知症指導者、認知症コーディネーター

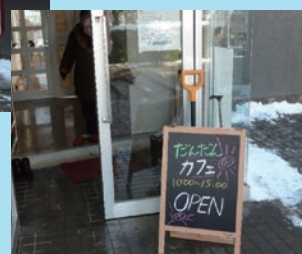


だんだんカフェ OPEN**元気なうちに終活のおしゃべりしませんか？**

社会福祉協議会NT中央南支部では、「終活」の市民活動団体 エンディングサポート風と協働で、地域サロン「だんだんカフェ」を1月からはじめました。次回は、下記のとおり内野で、4月以降は他の地区で開催する予定です。

「自分がもしもの時はどうなるだろう…?」「いつか真剣に考えたいけど、どこから考えればいいのか…」。

生前整理、葬儀やお墓のこと、遺言……。もしもの時のために、今から何をしておくべきでしょうか。これらの暮らし方、死に方をおしゃべりしながらエンディングノートに整理してみませんか？

**3月27日(火) 10:00～15:00****内野第一集会所 (UR 管理事務所隣)**

スタッフ／エンディングサポート風&社協支部メンバー
お問合せ／080-5082-0970 (増田)

だんだんカフェをサポートしてくださる

ボランティアさん大募集！

だんだんカフェはこれから順次、開催場所を増やしていく予定です。

カフェの運営をお手伝いいただける方はぜひ下記社協メンバーにご連絡ください。月に一度開催している高齢者の会食「だんだんランチ」の、調理・送迎ボランティアもあわせて募集しています。

福祉の地域づくりにあなたもぜひご参加ください！

だんだんカフェの特長

- ① 歩いて行ける近くの集会所で。
- ② 参加は無料。
- ③ お好きな食べ物 持ち込み可。
- ④ いつ来てもいい、いつ帰ってもいい。
- ⑤ お一人でも、ペアでも、グループでも。
- ⑥ お歳はいくつでも可。
- ⑦ 心配事の相談もできる。

**問合せ
連絡先**

内 野／志賀泰次郎 46-5825
原 山／小関ミツ子 37-7237

高 花／山下順三 46-6896
戸神台・中央南／大西幸江 50-8008